

ミラノ便り No.4 2021.8.1



「ミラノ便り」として日常体験したことを紹介しておりますが、先日ミラノ県から外へ出て Brescia という街へ行った話を少々。

旅のバイブル「地球の歩き方」では 5 ページ分の紹介。ベルガモやクレモナより情報が少ないものの、行って良かったと思える街でした。

ミラノからローカル線で1時間、東へ約 80km の所にあります



中世以来、兵器製造の伝統の街・有名なサッカー選手(Roberto Baggio)が最後に所属していた街というのが私のイメージです。下調べもそこそこでしたので、街中をウロウロしていると親切な男性が時計塔の説明をしてくれました。「英語は少ししか話せないけど。。フランス語の方が良い？」と前置きした後、過去の修繕や歴史について英語で教えてもらいました。



←Brescia 駅前



↓ Torre della Pallata



また、路地にある噴水を眺めていると、別の方が噴水(しかも数か所)について説明を交えて案内してくれました。この時点で Brescia に対する評価はうなぎ上りです！周辺に商業施設も少なく静かな場所でしたので、石造りの建物に囲まれながらゆっくりとした時間の流れを感じることができます。



教会や歴史的な建造物を見つつ、丘の上の古城(Castello di Brescia)と武器博物館へ行ってみました。博物館では町を潤した産業の武器、騎士剣や防具等も数多く展示され、日本に鉄砲が伝わった時に欧州ではここまで進んでいたのか、と技術力の差に感心すらしました。

また、お城からは眼下に広がる城下町、北側の丘陵地に並ぶ赤い屋根。どこかで見たような景色・・・松本平・安曇野のように広がった平野部、松本城から北に見える城山の様ではありませんか💡 松本に縁のある私にとって、このノンビリした感じが故郷と重なって思えました。そんな感慨深さもあり、他の街よりも印象的だったのかもしれない。



日本人？と話かけられたのもイタリアに来て初めてのことでした。街中の飲食店では、気さくなマスターが食後に秘蔵のマッチ箱コレクションを見せてくれました。なんと、東海道五十三次の浮世絵デザインをコンプリート！それ以外にもかなり古いデザインもありました。どうやら、以前にお店を訪れた日本人からもらったものらしいです。楽しい時間を共有でき、優しく接してくれたことを大変嬉しく思っています。

マスターのご厚意に感謝して勝手にお店を紹介いたします。

お店の前を通った際、他のお客さんが食べているメニューが羨ましくて入店しました。



AL FRATE

Via dei Musei, 25, 25122 Brescia BS

<https://www.alfrate.com/it/>

初めに生ハムとパンが出てきて、美味しさのあまり完食。

暑いので炭酸水をガブガブと飲みすぎ、

メインのお肉が出てくる前に満腹になってしまいました。

結局、一番大切なメインを少し残してしまうことに。。

マスター、ごめんなさい🙏



そのマスターも「フランス語はできないけど・・・」と、どうみてもアジア顔の私に言ってくれました。この街の方々はみんなフランス語が好きなのかと思っていたところ、夕方になってその理由に気付きました。

私のTシャツにある文字がフランス語だったのです！

上田市のゼビオスポーツで買ったフランスのフットサルブランドのシャツですが、まさかイタリアで波紋を呼ぶとは思いませんでした。着やすく気に入っているので、今後もイタリア国内でガンガン着ていきます。

予想を遥かに上回り印象的だった街、ブレシア。ブログ等の情報も少なく観光には穴場的な都市かもしれませんが、日本のモノを持ってもう一度マスターに会いに行きたい(お肉も完食したい)とさえ思えました。もちろん、イタリア語をもっと勉強してからですけどね。

2021年8月1日